



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2016~2017)

- ・国際協会会長『Our Future Begins Today』  
JOAN WILSON (Canada カガ)
- ・アジア地域会長『Respect Y's Movement』  
Tung Ming Hsiao (台湾)
- ・西日本区理事 『ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!』  
「Energizing Y's Men's Clubs with The Y's spirit!」  
副題 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増!」  
岩本 悟 (熊本西ワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長 『楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で  
更なるクラブ活性化を図ろう』 長井 慎吾 (西宮クラブ)
- ・西宮クラブ会長 『明るく、楽しく、チームワークで行動し、さらに活力ある  
クラブにしよう (胸に炎を燃やそう)』 万本 敬一

2017年6月

830号

《70期-12号》

since 1948.5.17

スポンサークラブ  
大阪クラブ  
DBC  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

## クラブ主役員

- 会 長 万本 敬一
- 直前会長 浅野 純一
- 書 記 浅野 純一
- 書 記 河野 彰
- 会 計 濱崎 進一
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 西山 茂夫
- 担当主事 藤田 良祐
- 六甲部長 長井 慎吾
- 六甲部書記 浜 浩一
- 六甲部会計 山本 常雄
- 部事務局長 馬場 一郎
- 70周年記念事業  
準備委員長 岡田佑一郎

## 2017年6月 西日本区強調ポイント “ 評価・計画 ”

1年を振り返り、できた事はクラブをメンバーを自分を、大いに褒めて下さい。出来なかった事は、記録にまとめ次年度に活かしましょう!。次年度役員の方は、綿密な計画を作りましょう!

岩本 悟理事 (熊本にしクラブ)

### 西宮ワイズメンズクラブ

#### 2017年6月度第一例会次第(クラブ総会)

日時:2017年6月16日(金)19時~

会場:西宮YMCA 保育園3階ホール

ドライバー:河野ワイズ(記録)、小野ワイズ(司会)

1. 開会点鐘 万本会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読(小野ワイズ)  
食前感謝 藤田ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 万本会長
5. 会食 一同
6. 本年度のまとめと振り返り(活動) 万本会長  
(会計)濱崎会計、足立会計
7. 次年度の計画(方針、役割等) 石井次期会長  
(予算案 濱崎次期会計、足立次期会計)
8. 各種審議ならびに報告事項 万本会長
9. その他報告と本年度・次期への意見
10. 誕生日のお祝い 万本会長
11. ワイズニュース 万本会長
12. YMCA ニュース 藤田担当主事
13. 閉会点鐘 万本会長

### 今月の聖句

「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになつたのですか」 マタイによる福音書第27章46節

小 野 勅紘ワイズ (濱浩一ワイズ)

### 5月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(5. 12金)	第2例会(5. 26金)
メン 18名	メン 11名
メネット 1名	メネット 0名
ゲスト1名ビジター2名	MU2名 合計 11名
合計 22名	出席率90. 9%

ファンド・BF	5月	年度累計
ニコニコファンド	¥ 6, 000	¥54,325
BF@300	¥ 6, 700	¥39,700,
東日本震災@200	¥ 3, 000	¥25,000

### Happy Birthday To You

- 13日 山口 洋子メネット
- 17日 岡田 春美メネット
- 21日 浅野 恭子メネット
- 26日 河野 彰 メン

# 会長メッセージ

万本 敬一 会長

会長を拝命して、あっという間に一年間が過ぎました。至らぬ事も多々あったと思いますが、皆様に手伝っていただいたり、助けられたりしながら、何とか最終月となりました。メンバーの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第一例会報告

ドライバー 浅野純一 メン

5月12日(金)に定例の例会がありました。ゲストスピーカーは神戸・トルコ友好協会会長の加藤利明氏で、「神戸とトルコの物語」と題してのお話をお伺いしました。氏は神戸市職を2年前に定年退職され、現在相楽園会館の館長をされています。



氏とトルコとの結びつきは、1999年8月17日、トルコのイスタンブール近郊のイズ

ミットを震源とする大地震が発生した際、神戸市から派遣された復興支援の一員として被災地現地に入りました。なお、氏は神戸市職として阪神大震災復興の公的な支援に関する仕事を担当されていました。

トルコに行って感じたことは、価値観、言語、生活様式において日本人と似通っていることでした。例えば靴を脱いで部屋に上がります。そして、非常に親日的であったことに驚いたそうです。トルコの源流は中央アジア(今日トルキスタンといわれる所があります)、日本人も一つの源流が中央アジアで、西に行ったのがトルコ人、東に行ったのが日本人とも言えるかもしれません。

トルコと神戸との関係ですが、1890(明治23)年9

月16日、トルコ(オスマン帝国)の木造軍艦エルトゥールル号が東京での公式訪問を終えて横浜から神戸に向かう途中、和歌山県串本・大島沖で遭難しました。この事故で587名の方が亡くなりましたが、串本町の町民あがての救出活動が行われました。生存者は69名でしたが、ドイツ船にて神戸に運ばれ、和田岬の神戸救護病院で療養生活を送りました。神戸は当時、唯一トルコ語の通訳がいたからです。この遭難事故における串本町民の行動はトルコの人々に大きな感動を持って受け入れられ、トルコでは教科書にも載って現在まで伝えられています。

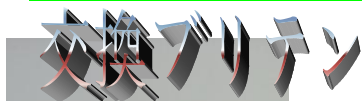
1980年代にイラン・イラク戦争が起こりました。1985年8月、イラクのフセインはイランに対して48時間以後の無差別攻撃を行うとの通告をしました。イラン在住の日本人をいかに救出するのか、自衛隊の飛行機は出動できません(憲法上の問題があります)。JAL機も飛びません(パイロット組合が安全の確保に問題があるとして派遣を拒否)。

この時、トルコ機が日本人救出に向かいました。自国民に優先してトルコ領内へと救出したのです。このことに対してトルコでは政府への批判がでませんでした。当時の朝日新聞は「日本からの経済協力を見込んで」などの記事を書きましたが、救出は純粋にあのエルトゥールル号の遭難時における日本への恩義からのことです。串本ではこれらのトルコとの友情の物語を日本でも教科書に書くようにとの運動を起こしています。( )は記載者

例会では遠藤西日本区直前理事、正野同書記がビジターで参加されました。遠藤直前理事は次時期(18-19年度)の理事指名の責任を負っておられます。ところが、快諾頂ける方がなく時間的にも限界に達しており、自らその職責を引き受けられると決意されました。ついては、前期(15-16年度)のEMC主任でもあった当クラブの小野勅紘メンにキャビネットの一人に加わることを了承を求めに來られました。これに対して、西宮クラブの例会参加者全員が、小野メンがキャビネットに加わることに賛同しました。

例会の参加者はゲスト1名、ビジター2名、メ

メンバーの参加者は浅野、足立、石井、岩田、小野、阪根、西山、馬場一郎、濱、濱崎、廣瀬、藤田、藤原、万本、宮地、山口政紀、山口吉郎、山本の各メンバーで、合計21名です。



### 西宮クラブ

石井 恭子メン



今月は西日本区大会が熊本で開催されます。ここ2年は大阪での開催でしたので、久しぶりに宿泊を伴った旅行気分です。とはいえ、今回は熊本ということで、少し違った目的も持って行こうと思っています。昨年4月の地震から被災地を訪れていないことが、ずっと気になっていました。

被害の大きかった益城町は空港からそんなに遠くないようですし、熊本城も大会会場から近いので、訪れておきたいと考えています。第二例会で「熊本城に行きませんか？」とお話したところ、浅野ワイズが熊本城ボランティアガイドの手配をして下さいました。

他に所属している団体で、例年は交流ゴルフコンペを行っていましたが、昨年度は熊本地震復興支援チャリティーゴルフコンペとして開催し、熊本城への寄付をしました。支援先を検討した際、熊本城なら復興の様子も見え、熊本へ訪れるきっかけにもなるということで決定しました。約一年後に、特別な思いを持って、西日本区大会・熊本に参加できることを感謝いたします！

そして、近江八幡・広島クラブの皆様とも、お目にかかれるのを楽しみにしています♪

## ④甲部長活動あれこれ記

長井 慎吾メン

5月13日(土)の午後、神戸YMCAの加納町の新館にて一般へのお披露目イベント「オープンDAY」が開催されました。ワイズメンズクラブ六甲部として展示ブースを作り、一般の方々に活動をアピールすることができました。広報委員長の鯖尻ワイズ(宝塚)が作成された六甲部の紹介パンフレットの配布や、六甲部部会で各クラブの活動紹介をした際のプレゼン資料を掲示しました。短時間でしたが、兵庫県副知事や神戸新聞の記者がじっくりと紹介内容を聞いてくださり良き広報になったと思います。1クラブのみの紹介だと活動している内容が少ないですが8クラブの主要活動を紹介すると、それなりに時間もかかり、それぞれの地域で様々な奉仕活動を実施している大きな団体であると改めて認識しました。しかし、今回は資料と写真を個々に説明しましたが、短時間で効果的にワイズの活動を説明するには、映像を使ったプロモーションビデオなどがあると良いと思いました。作るの大変ですが。。。

## YMCAニュース

藤田 良祐担当主事

新緑が美しい季節になり、六甲山でも虫が飛び交い、鳥が鳴き、山の賑わいを取り戻し始めました。西宮YMCAの野外活動に集う子ども達も、そんな賑やかな自然の中で様々なものに興味を示しながら、小さな足で一歩一歩ゆっくりと前に進みながら元気に活動をしています。自由奔放な子ども達を目の前にして、少し引きつった表情で「ちゃんと前を見て歩いてね。気をつけて！」と必死に声をかけるリー



ダー達も子ども達と同じく少しずつ、しかし確実に成長をしています。いよいよ夏休みが近づいて来ました。YMCA に集う子ども達、リーダー達が大きく成長する夏になることを願っています。

YMCA 行事報告をお知らせさせていただきますので、お目通しいただければ幸いです。

#### 1. 神戸 YMCA 三宮会館竣工記念式典・オープンハウス DAY

5月13日(土)に神戸市中央区加納町に完成した三宮会館の竣工記念式典、オープンハウス DAY が開催され、国内、国外、会員、行政、協力団体、ワイズメン、多くの皆様をお迎えしました。式典への参加者、オープンハウス DAY 来場者、関係者を合わせて215名の方々が集っていただきました。ワイズメンズクラブのブースを設置して下さった皆様、お支えくださった皆様に心より感謝申し上げます。

#### 2. 神戸 YMCA リーダー委嘱式

5月14日(日)に神戸 YMCA 三宮会館に於いて、春季ボランティア研修会、リーダー委嘱式を開催しました。これは毎年、ワイズメンズクラブの皆様にお支えいただいているもので、今年も大勢のボランティアリーダーが集い、「組織キャンプと市民性」について学びを深める機会を持ちました。いつもお支えいただいていることに感謝を申し上げますと共に、リーダー達の今後の活躍にご期待ください。

#### 3. 宝塚 YMCA チャリティーバザー開催

5月27日(土)に宝塚逆瀬川において30回目のチャリティーバザーが開催されました。宝塚ワイズメンズクラブの皆様とユースリーダー達が共に、お楽しみ抽選会、焼きそば販売、蚤の市などを行いました。かつて YMCA があった宝塚の地で、こうして活動が継続され

ていることに感謝をもって報告させていただきます。

#### 4. 神戸 YMCA 夏季キャンプ募集

2017年度の神戸 YMCA 夏キャンプの募集を行っています。今年も多く子ども達が余島をはじめ、六甲山、千刈、家島、四万十など様々な場所へ出かけます。まだ空きのあるキャンプもございますので、お知り合いの方などへご吹聴いただけましたら幸いです。

#### 5. 定期総会のご案内

5月のブリテンでもお知らせしましたように、神戸 YMCA 定期総会を以下のように開催します。新しい三宮会館で行われる初めての総会へ是非、ご参加ください。

日時：2017年6月30日(金) 18:30～

場所：神戸 YMCA 三宮会館チャペル

**リーダー会便り** リーダー：永峰 秀悟さん

5月も西宮 YMCA では3つのセクションに別れて野外活動を行いました。各セクションともに晴天に恵まれて、5月の自然を満喫することができました。各セクションからの活動報告をさせていただきます。

#### **キッズ (幼児)**

5月の野外活動キッズは、三宮から市バスで大竜寺まで行き、市ヶ原を経て新神戸駅まで歩いて下りました。その日は日差しも強く、暑い日だったので市ヶ原で川遊びもしました。幼児が自然の中で様々なものに興味を示すことができるように「発見マップ」を作りました。子ども達は、発見マップに載っている物を見つけようと、周囲に注意を払うことで新しい発見をしたり、子どもたち同士で発見を伝え合ったりする姿が見られました。布引の滝では、子ども達は滝の雄大さに目を輝かせていました。

幼児には少し大変な道のりでしたが、同じグループの子ども達同士で声をかけ合い、励まし合いなが

ら最後まで歩ききることができ、充実した活動となりました。

### シニア (小学校低学年)

5月の野外活動ジュニアは五月山公園に行きました。ねらいは「興味と協力」に設定しました。五月台という広場でお昼ご飯をみんなで食べるために3つのルート(五月台コース、大文字コース、ひょうたんコース)の3つのグループに別れて行動しました。自然が豊かな場所で、子ども達は木の枝や大きな石を見つけたり、崖を競争して登ったりしていました。池田の街を一望できる高台で、いつもは先に行ってしまう子ども達も立ち止まって、景色を眺めている姿が印象的でした。また、協力という面では、グループのメンバーの名前を覚えてお互いに名前を呼びあっているグループがあり、山登り中に声を掛け合って協力する場面がいくつか垣間見えました。

ゆっくりと流れる時間の中、各グループがのんびりと過ごすことができた例会でした。

### シニア (小学校高学年)

野外活動シニアの5月例会は大阪の五月山公園に行きました。山の中は木がたくさんあり、色々な鳥の鳴き声が聞こえ、豊かな自然に囲まれた場所でした。5月例会では「モノを大切に」ということを目標に活動を行いました。平気で虫をつぶしたり、木や花をむしりとったりする子ども達の姿がとても気になっていたため、このような目標を設定しました。結果的に5、6年生のグループではメンバー内での思いやりが見えたという評価もできました。年齢層も広いためグループごとに課題は違ってきているのがシニアの中での悩みですが、去年から比べると成長しているメンバーも見受けられるので、これに満足せず他のメンバーも成長できるように取り組んでいきたいと思えます。

## ワイズニュース

万本 敬一会長

- (1)6月第2例会 6月23日(金) 西宮Y  
(2)六甲部第1回評議会 7月8日(土) 神戸Y  
MCA・グリーンヒルホテル(懇親会)

(3)アジア地域大会 7月21~22日  
タイ・チェンマイ

### [聖句によせて]

有名な十字架上のイエス・キリストが処刑されようとしている場面です。イエス・キリストが神様に呼びかけても神様は「沈黙」のままです。同じ場面が先ごろ映画化された遠藤周作の小説「沈黙」にも出てきます。今まさに踏み絵をしようとしている時に神様に呼びかけても神様は「沈黙」のままなのです。神様を見た人はいません。なぜなら実は神様は一人ひとりの「心の中」におられたのです。多くの人々が同じ場面で「偶像」を拝むように形式上では神様は現れません。表むき神様を信じていると言いながら「心の中」に神様がいない人も、表むき神様は信じていないと言いながら実は「心の中」に神様がいる人もいるのです。一人ひとりが個々に神様と対峙してはじめて信仰が生まれるのです。皆様も御自分の「心の中」におられる神様とお話なさってみてください。 小野 勅紘ワイズ

### 編集後記 ブリテン委員長 廣瀬 一雄

いよいよ9日に前夜祭。10日には熊本で第20回西日本区大会が開催されますね。来年の6月には大野理事大役の第21回神戸で開かれます。私もその実行委員として参加して



ますがPCの古いホルダーから写真がでてきました。Dateを見ると2004. 6/6 15:23 でした。前回

神戸のポートピアホテルで開催し京都の柴田理事、大会実行委員長は神戸の山口徹メンでした。この写真は大阪梅田の喫茶店での広報実働委員会での打ち合わせの様子です。皆さん誰だかおわかりですか？若かったですね。いまま、すこやか・しあわせ・ワイズとともに・